

## 「スーパージュニア選手育成プログラム 2016」トライアル

9年目の実施となる「スーパージュニア選手育成プログラム」がスタートしました。県内の小学5・6年生全員に配布した募集要項により、広島会場に約200名、福山会場に約50名のトライアル参加の応募がありました。残念ながら当日、体調不良等による欠席者はありましたが、5月21日(土)、22日(日)に広島会場、5月28日(土)に福山会場の3日間、未来のアスリートを目指す小学生が元気にチャレンジしました。

今年はリオデジャネイロ、そして4年後には2020年東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。スポーツに対する熱い追い風が吹いており、参加した子どもたち、そして見守る保護者たちの目も一段と輝いていたような気がします。

このプログラムは、いろいろなスポーツを体験し、自分にあった競技、自分のやりたい競技を見つけてもらうことが目的の一つです。是非、この参加者の中から未来の広島県を代表する国体選手、日本を代表するオリンピック選手が育ってくれることを期待しています。



開会行事では、主催者を代表して公益財団法人広島県体育協会 武鍵守 強化委員長が、「たくさん子どもたちが応募してくれたことが嬉しい。体験プログラムや専門プログラムを通して、いろいろなスポーツを体験し、その中から自分にあったスポーツを見つけて、大きな目標を持って頑張ってもらいたい。」とあいさつした。

また、広島県教育委員会 石井道代 課長からは、「スポーツをすることはとても素晴らしいことであり、今回の事業を通してさらにスポーツに興味を持って、これからもいろいろなスポーツに挑戦してほしい。」と激励しました。

準備運動で体をほぐした後、測定を開始しました。今回の測定は、上体起こし、立ち幅跳び、長座体前屈、40m走、ソフトボール投げ、20mシャトルランの6種目を実施しました。ソフトボール投げでは体育館の壁に当てる遠投や、100回を超えるシャトルランなど、好記録が出るごとに、スタンドで見守る保護者から拍手と大きな歓声が沸きました。



上体起こし

立ち幅跳び

長座体前屈

40m走

ソフトボール投げ

20mシャトルラン

今回のトライアルにより、次の体験プログラムに進む5年生25名、6年生25名を選考し、選考結果を参加者全員に通知しました。

体験プログラムは、7月から始まり、1月のファイナルトライアルまでの6回のプログラムを実施します。トライアルで選考された50名に加え、昨年度の体験プログラムに参加した5年生(現6年生)のうち希望者が参加します。

また、専門プログラムも実施しますが、これは体験プログラムで実施した競技をさらに継続してやりたい場合、また、体験プログラムに参加することができなかったトライアル参加者も参加できるもので、何回でも、どの競技にも参加できます。



今回、この専門プログラムを実施する競技団体のうちスピードスケート、ホッケー、テニス、ウエイトリフティング、ライフル射撃の担当者によるプレゼンテーションが行われました。競技団体の担当者は、ジュニア選手の発掘や競技人口の拡大を目指して、参加した小学生とその保護者にアピールしていました。その効果もあり、プレゼンテーション後には興味を持った参加者が、詳しい説明を求めて、競技団体のブースに列をつくっていました。

皆さん、いろいろなスポーツに挑戦してください。きっと、自分にあったスポーツに出会えると思います。頑張れ！ひろしまのジュニアたち。



最後に、今年もトライアルの測定にご協力いただいたT&TWAMサポート株式会社のトレーナーの皆さん、広島県小学生体育連盟の皆さん、補助員としてお手伝いをいただいた広島女学院大学、広島文教女子大学、福山平成大学の学生の皆さんに感謝申し上げます。ありがとうございました。

